

企業訪問 資源循環レポート

永井産業株式会社



再エネ100%の事業展開 緑あふれるオープンオフィスで 充実のワーク&ライフ



新オフィスについて話をされる永井取締役

永井産業（株）（名古屋支部）は業務拡大に伴い、令和6年3月より本社（HEAD OFFICE）を「BIZrium名古屋」オフィス棟4階に移転しました。

今号では、取締役常務執行役員 永井 愛氏に、新オフィスにおける取組についてお話を伺いました。

■会社概要

- ・昭和44年 永井産業（株）設立
- ・昭和47年 名古屋市一般廃棄物処理業許可取得
- ・昭和55年 愛知県及び名古屋市産業廃棄物収集運搬業許可取得
- ・令和2年 ナガイホールディングス（株）を持ち株会社とするホールディングス体制に移行
- ・令和6年 グループとして創業98年目を迎える
業務内容は、産業廃棄物収集運搬業（4県・1市）、産業廃棄物処分業（1市）、特別管理産業廃棄物収集運搬業（3県・1市）、一般廃棄物収集運搬業（8市・2町）再生資源卸売事業、他

■再エネ100%

同グループでは2年後に創業100周年を迎えます。そこで現状を取り巻く状況と、時代や環境の変化にどのように対峙していくのか、未来への道筋を作るべく、中期経営計画「N-VISION2026」が策定されました。その中に、本社を名古屋駅に移転する計画があり、移転先となる名古屋駅周辺のビルが多数候補にあがっていました。

この時期にイオンモール（株）の、オフィス複合型商業施設「BIZrium名古屋」（“働く、学ぶ、暮らす”をデザインする施設）の開発を知りました。

イオンモール（株）は、オフィスを併設しての展開は「BIZrium名古屋」が全国でも初めてであり、



永井産業（株）

■代表者／代表取締役 永井 宏典

■所在地／名古屋市西区則武新町三丁目1番17号
BIZrium名古屋4F

TEL 052-508-4153 FAX 052-508-4253

さらに東海エリア初の実質的にCO₂排出量ゼロの電気・ガスを使用する商業施設です。

同社は、令和3年4月に「再エネ100宣言 RE Action」に参加し、各拠点全てにおいて地産地消の再生可能エネルギー100%の調達をはじめており、今回の本社移転（令和6年3月）において「再エネ100%」を達成をしました。

このような経緯から、当初の計画(N-VISION2026)より早めの移転となったようです。

■HEAD OFFICE

現在、本社には女性職員が多数勤務しており、終業後に同じ建物内にショッピングセンターが併設されていることは、帰宅後の家事へシフトする際のタイムパフォーマンスが良いと感じます。他にもクリニック、フィットネスジム、ヘアサロン等が併設されていますので、退社後のプライベートへの切り替えがスムーズです。

人手不足と言われる産廃業界ですが、業界の働きやすさを一新する上で、通勤の時短、オフィス複合型商業施設により仕事（Work）と生活（Life）をワンストップにして、ゆとりのある暮らしと柔軟な働き方への取組は、採用活動において大きな強みとなります。さらに、社会貢献度の高い資源循環業は今後成長する業界として、応募者の働く意欲に強く響きます。

HEAD OFFICEは統括管理が主ですが、トータルにおいてブランディング化を図る重要な役割も果たしています。

■Infinity

HEAD OFFICEのコンセプトは「Infinity」。全体のレイアウトは「∞」をモチーフにして曲線を生かした柔らかな印象をイメージ。オフィス内は観葉植物を多彩に配置し、事務備品は木目調で統一され、自然環境の空間を意識した「環境保護から未来を変える」というメッセージが伝わってきます。

ワークエリアは役員エリアと総務エリアに分か



緑の植物で囲まれた総務エリア



総務エリアに隣接する役員エリア

れ、総務エリアはデスクワークの効率性を考えた机の配置であり、隣席者のPC画面が視界に入らないよう、自身の業務に集中できる配慮がされています。また、役員エリアとは格子のウッドスクリーン（緑の葉が装飾）で仕切られているのみで、役職の上下間を取り払うかのような風通しの良さが感じられます。ワークエリアと隣接する社長室はガラス張りとなっており、そのガラス壁面上部にはモニターが掲示され、リサイクルステーションの状況がタイムリーに映し出され、誰かが絶えずモニターチェックをしているので、閉ざされた社長室ではなく、常に見られている部屋が社長室です。

営業エリアはフリーアドレスになっており、営業マンは空いている席を利用しますが、日中は営業に出ているため空いているようです。帰社後はそのエリアで事務書類の作成に活用されます。

窓際には「半個室ブース」が設置され、リモート会議等に活用されますが、一人で落ち着いて考えたい時にも利用されるようです。

ガラス張りのパーティションの会議室は、オープンな空間で自由な意見が述べやすいというメリットがあります。

カフェエリアはパーティションで半分ほど囲まれ、安らげる空間づくりがなされています。ランチタイムやおやつタイム、気分転換を図りたい時等、気軽に休憩できる憩いの場です。

併せて4階フロアには、共有スペースのワーカースペシャルラウンジやテラスがあり、打ち合わせ、ランチ、休憩に活用でき、同社の入社歓迎会はテラスを利用して開催されました。

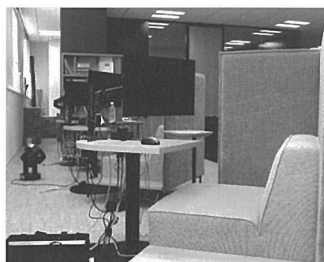
サステナブルへの取組、通勤の時短、社員目線での働きやすさなど、多くのニーズに応えた「HEAD OFFICE」。業務を陰で支える永井取締役は、女性部でもご活躍です。お忙しい中、取材にご協力いただきありがとうございます。



40 拠点の監視カメラモニター



複合機周りは木目のチェストと緑の植物



リモート会議等の個別ブース



カフェエリア、奥が広がっています。

